

全国武徳祭に参加して

こばと修童館 小六 九谷 美桜

平成二十八年四月二十六日に京都市武道センター・旧武徳殿で第五十四回全国武徳祭が行われました。私たちこばと修童館は昨年の少年武徳祭で優勝したので、全国武徳祭に行くことが出来ました。朝六時にこばと修童館に集合してバスで武徳殿に行きました。武徳殿に着いて着替えをして待っていると、心臓がドキドキしてきましたがみんなと何回か練習をするといつもより何倍も頑張ろうと力がわいてきました。みんなからもやるぞという気合いが伝わってきました。

そして私たちの番です。礼をして入るとき、きんちようから顔が笑ってしまいそうになったけどぐつとこらえました。みんなと心を合わせて、一つ一つの技を丁寧なきめていきました。今までの練習の成果を出すため必死に演武しました。

だけど私はみんなと比べるとふり方も小さいと思うし、ひの音もあまり出ていないから今後はそこを中心に練習をしていこうと思います。やりながら練習より上手にできているなと思いました。

そして、来年も少年武徳祭で優勝して全国武徳祭に行きたいです。

世界日本武徳祭

こばと修童館 小六 中田 花

私は、世界日本武徳祭に参加することが決まった時は、青少年武徳祭をこえられるようにしようと思いました。私は、苦手なところが二つありました。一つ目は、まっすぐに切ることです。その部分を練習すると、まっすぐ切れて、はずしの音が出せるようになりました。二つ目は、のうとうです。のうとうは、さやを見ってしまうことがあるのを気をつけると、すぐに、さやを見ずに入りました。

本番になると、外国人の人達がたくさん見ていたので、きんちようしました。だけど、苦手なところを直したので、その努力をむだにしないようにがんばりました。その気持ちが入ったことで、しっかりえんぶができたので、大成功で、青少年武徳祭をこえられることができました。

次は、今年の青少年武徳祭で、自分の持っている力を発ぎしていきたいです。